

## シンガポールでのコロナ禍におけるオンラインでの取り組み

### 在シンガポール日本国大使館ジャパングリエイティブセンター（JCC）とのオンライン金箔体験セミナーの共同開催について

ここシンガポールにおける日本文化に関する情報発信の拠点として位置づけられている JCC と連携し、石川県が日本国内生産量の 99% を占める金箔を使った伝統工芸体験を開催しました。

JCC とは、シンガポールのリー・シェンロン首相の提案を受け、日本・シンガポール両国政府が協力し、新たな日本文化発信拠点として 2009 年に開設された施設であり、「イノベーション（革新）とトラディション（伝統）」をテーマに、日本の魅力を発信し、シンガポールや東南アジア諸国における対日関心を一層高め、相互理解の促進を通じた交流がさらに深化し、日本とシンガポールや東南アジア各国との友好関係の増進を目的とした日本文化発信拠点となっております。

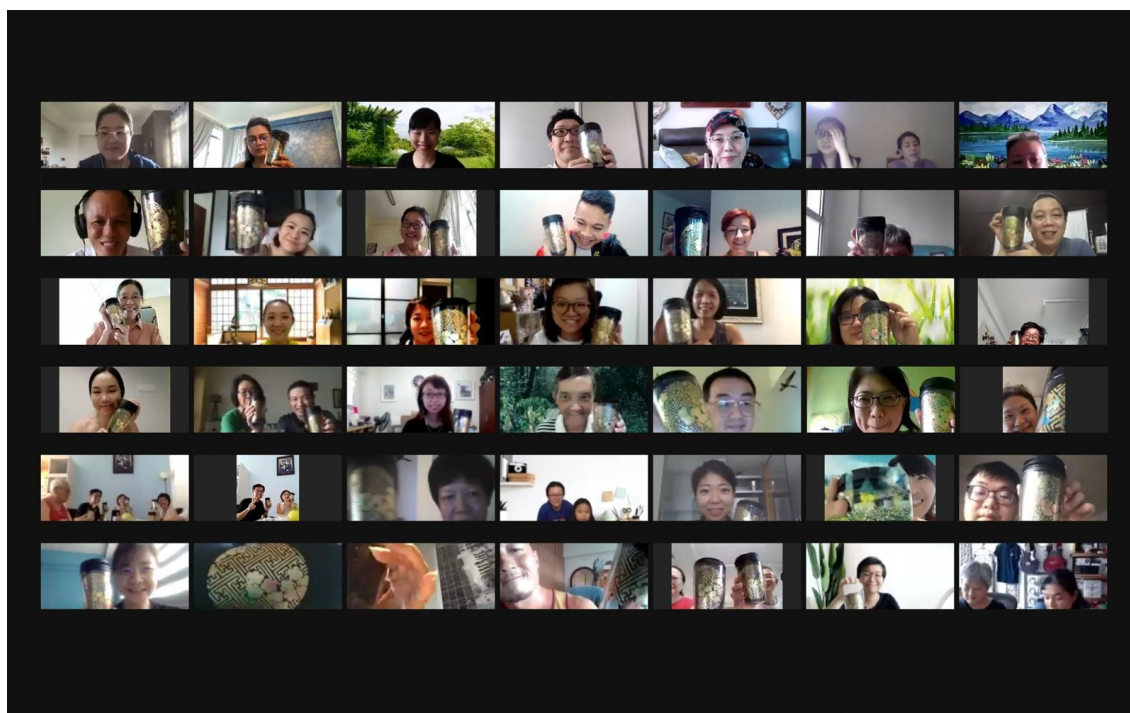
また、今年、日本・シンガポール両国の外交関係樹立 55 周年を迎え、コロナ禍の収束後、互いの国を訪れる人を増やすことを目的として「SJ55」キャンペーンを開催しております。日本政府観光局はシンガポール人に対し、また、シンガポール政府観光局は日本人に対して、それぞれの国の魅力を発信し訪問意欲を喚起することとしており、今回のオンライン金箔体験セミナーも SJ55 の事業の一つとなっております。

当該セミナーについて、定員 70 名で募集したところ、募集開始から 2 時間で募集定員が埋まるほどの人気であり、JCC 担当者からも「他のイベントと比べて今回のイベントの人気は一層の勢いを感じる。石川県と金箔がそれだけ魅力的ということである」とコメントをいただきました。また、募集終了後のお問い合わせも多かったため、追加募集枠を設けることといたしました。

当日は金箔体験や石川県の観光名所の紹介のほか、伝統的工芸品や日本酒、食品を販売する石川県 EC サイト「Ishikawa Japan Shop」を PR することで、体験での経験と文化発信に加え、食でも石川県の訴求しました。

参加者からは、「石川県ではスキーを楽しむことができるのか」といった質問が寄せられるなどコロナ収束後の訪日・来県への高い関心が伺えたほか、開催後、小学生

のお子様に参加されたご家族より「本当に楽しいワークショップだった、（作ったタンブラーを）使うのがもったいない」と、お子様の写真付きでメッセージをいただきました。楽しいことは記憶に残りやすいので、これからも、この小学生ご家族のように、こうした体験を通じて石川県のファンを増やしていきたいと考えております。



(当日のウェビナーの写真)



(JCC から発信した石川県の紹介)

## シンガポール事務所アシスタント交代

シンガポール事務所のアシスタントの「サキ (Sakthibalan Balathandautham T A M

)」が6月27日をもって退職しました。2020年1月から約1年6ヶ月、一つでも多くの石川県産品が売れるように、また、1人でも多くの方に石川県ファンになっていただけるように様々なプロジェクトに共に取り組んできました。

例えば、昨年度コロナ禍で人の集まりが禁止される中、初めてオンラインでの開催を試みた金箔体験は、引き続き今年度も開催しており、毎回、すぐに定員が埋まるなど、好評を博しております。また、石川県、北海道、静岡県の3道県が連携して実施した日本酒コラボイベントとオンラインLive PRや石川県産品をインターネット上でLiveで紹介・販売するFacebook live commerceもコロナ禍で試行錯誤しながらの新たなチャレンジでした。こうした苦楽を共にした仲間の旅立ちは寂しいですが、強力なサポーターがまた1人増えると考えております。現に、歴代のアシスタントとは一緒に仕事をしたり、意見交換や情報共有するなど、今でも石川県をサポートしてくれています。もちろんサキも新しい仕事に就いても石川県と関わっていきたいと言ってくれていますので、こうした人の絆を大事にしていきたいと考えています。

なお、新しいアシスタントは追ってご紹介したいと考えております。新体制となりますが、今後とも石川県シンガポール事務所をよろしく願いいたします。



サキと小職（現在はマスク姿の写真しか撮れないため、コロナの規制前（2020年3月）の写真）